

# ASEAN はいかなる大国の代理人にはならない

ジョコ・ウィドド（インドネシア大統領）

ストレイト・タイムズ 2022年11月13日

【ブノンペン発】 インドネシアのジョコ・ウィドド大統領は11月13日、アセアン議長国を正式に引き継ぐにあたり、「アセアンは平和な地域になることを目指し、いかなるグローバルパワーの代理人にもならないようにしなければならない」と述べた。

ブノンペンで13日に開催された第40回および第41回アセアン首脳会議と関連サミットの閉会式での引継ぎで、同大統領は、来年は自国がアセアン議長国として「Asean Matters」と「Epicentrum of Growth（成長の中心地）」をテーマに、主導的な役割を果たすと述べた。

ウィドド氏は、「アセアンは、平和な地域となり、世界の安定のための礎となり、一貫して国際法を守り、いかなる大国の代理人にもなってはならない」と強調した。

アセアンの今年最後の主要行事である式典では、主催者であるカンボジアのフン・セン首相から、輪番議長職の引継ぎを示す象徴的な小槌が渡された。

ウィドド氏は、アセアンは「品格ある地域」でなければならず、人道と民主主義の価値を維持しなければならないと述べ、現在の地政学的な動きを東南アジアにおける新たな冷戦に発展させてはならないと付け加えた。

経済については、「アセアンは、強固で包括的かつ持続可能な成長をする地域でなければならない」と述べた。

「経済成長は、これまでも、そしてこれからも、アセアンを語る上で欠かせないものです。また、次の20年の課題に対応するために、アセアンの能力を強化し、適応力、応答性、競争力を高めなければなりません」と述べた。

13日のインドネシア大統領事務局の声明によると、ウィドド氏の関心は、次の20年の課題に答えられるようにするために、アセアンの各機関の能力を高めることであるという。「大統領は、2045年までにアセアンがより適応力があり、対応力が高く、競争力のあるものになることを望んでいる」と、同声明は付け加えた。

ウィドド氏は、アセアン加盟国に対し、協力の精神を貫き、アセアン憲章を完全実施することによって、アセアン方式でこれを達成しようと呼びかけた。

(了)